

スカートは丁度一巾半位になるのです。袖は二つで二尺(七五糎七六)必要ですから、之を計算いたしますと、全部で用布の丈は四尺(一米五一)になります。ヤールに換算しますと約一ヤール七分となります。この外に帯、袖口、衿などの布が七寸(二六糎五一)要りますから、都合二ヤールばかりの布をお求めになれば立派な女兒洋服が一枚出来る譯です。但し、十歳位のお子さんになりますと、今お話した裁ち方では身巾が得られません。そしてスカートもこんどは二巾必要になります。従つて子供の洋服は丈の二倍と袖だけの用布がいることにして積ると便利でござります。

#### 四、縫ひ方

1、ポケット ポケットはどんな形でもよろしいのですが、必ず服の地と共布で作らねばなりません。そしてその口には何か飾りの布を縫ひつけると見た目に感じがよいものです。ポケットをつける所は身頃のスカートの右と左です。

2、スカート 先づはじめに別のスカートの布を身頃の方のスカートに合はせ、次に全體を輪にして裾の方を三ツ折縫にいたします。之がすみましたら、身頃の裾とスカートの上とを帯のまはりに合はせて縫ひちよめその上に釧をあてます。そして次に縫ひちよめたものは縫目が表に出るやうに縫代を浅くして縫ひ合はせ、前の裁ち目の終りの方へまいりましたら縫代を消して行くやうにして行きます。この縫目は表に出しても帯の下にかくれますから大丈夫です。

3、見返し、持出し は後の衿肩からスカートの切込までに附けるのです。見返しは裁切の中八分(三糎〇三)の兩側を一分五厘(〇、五六糎)に折り、五分(一糎八九)の仕立上げにします。持出しは裁切の中一寸三分(四糎九三)の兩側を一分五厘(〇、五六糎)づつ、折り、更に二つに折ります。右の身頃は上前ですから見返しを附け、左身頃に持出しを附けます。スカートの切込は持出しを重ね、横に二三本ミシンをかけておきます。

4、帯 帯の中は裁切一寸三分(四糎九二)位がよいでせう。縦横の縞ならこれを斜に使ふと大變面白く出来ます。帯廻りの仕立上を一尺七寸五分(六六糎二九)とし、前あきを三寸(一糎三六)としますと、帯丈の裁切は右が七寸六分(二八糎七八)左には持ち出しがあるから八

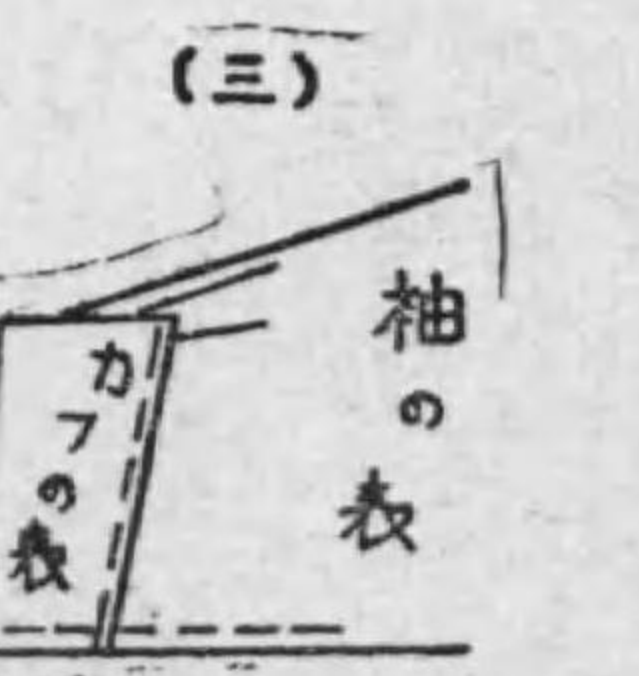
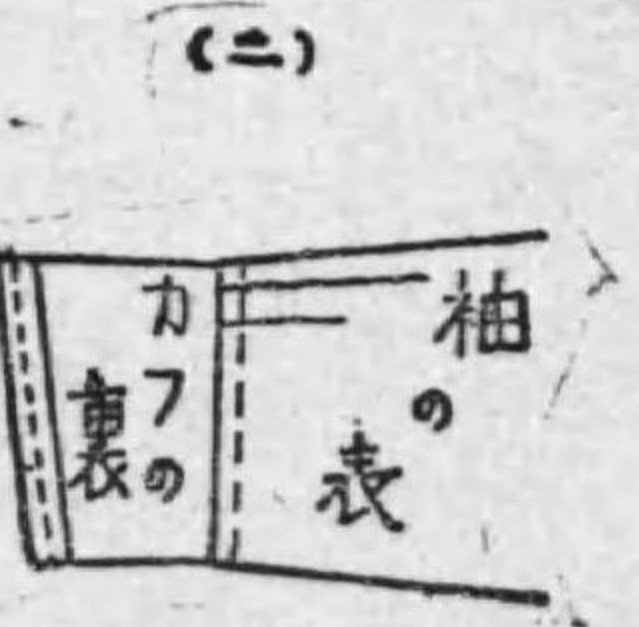


寸一分(三〇厘六八)いります。次にどちらでも片端を剣先に裁ち切つて、廻り全体を一分五厘(〇、五六厘)づつ、鋸で折つて、これを縫ひ目の上にのせ、廻りをミシンで縫ひ付けます。

5、肩 肩の縫ひ合せ方はウエストと同じことです。

6、衿 飾り布から型に合わせて衿を取り、其の廻りを鋸で一分(〇、三七厘)裏に折ります。次に此の衿の表を身頃の裏に當て、内廻りを折り目に沿ふて一分(〇、三七厘)の縫代で縫ひ、角に切込を入れ、衿を表に返して、内まはりと外まはりにミシンをかけます。

7、袖 袖口(之を普通カフといひます)は飾り布からとるので、八歳位のお子さんの半袖ならば丈八寸(三〇厘三)巾二寸(七厘五七)位でよろしい。しかしなりをつけるのならば巾がもつと廣く必要な事はいふまでもありません。そしてこの場合には、カフの外側、つまりなりの方を一分(〇、三七厘)だけ裏へ折り、表からミシンをかけ之を次の圖の(一)のやうに袖布の端に適當に縫をし、巾をそろへ裏から縫ひ付けて縫代を袖口の方に折り、ミシンをかけます。袖下は袋縫にしますから、袖布を(二)のやうに表を外にして折り、カフは二枚そろへて縫目の三分(一厘二三六)の所から(三)のやうに手前に折り別一枚の袖は向ふに折ります。そして



兩方共袖下を一分(〇、三七厘)の縫代で縫ひます。次に裏を外に出し、今一度袖下を縫ふ時に袖口の方ではカフの間で縫代を消すやうに斜に縫ひつて行きます。かうして表に引き返すとカフが面白く附きます。

8、袖の付け方 袖を附るには袖下の袖目は脇の縫目の一寸五分(五厘六二)ばかり前に行かせるのです。前の型紙にくの切込を入れておいた所がそれです。そこで袖下の縫目を一寸五分(五厘六二)ばかり、袖附の凸出して居る方にゆづると今まで凸出して居た方が却て凹みます。此の凹んだ方が前袖ですから、これで袖の前後左右を見分けるのです。袖附はどうしても袋縫にした方が便利ですから初め身頃は表を外にし袖は裏を外にして、袖



下の縫目と身頃の切込と合せて袖を身頃の間に入れ、單衣袖附のやうに一分〇、三七種)の縫代で縫ひ附けます。すると袖の方が幾分あまりますから、これは肩の縫目の前で縫ひ寄せて附けます。更に此の縫目にミシンをかけ、引返してもう一度ミシンで縫ふと袖がきれいに附きます。

五、十一、二歳から十四、五歳までの女兒服



十一二歳から十四五歳までの女兒には上圖のやうな洋服が便利でしかも可愛らしく似合ふものです。そしてこの洋服は仕立方も割合楽ですから、こゝではこの洋服の仕立方についてお話しすることにいたしませう。

六、型紙

紙型の後と前



前頁の圖を御覽になつても分りますやうにこの服は前右脇の變の下で開くやうになつてをります。つまり衿まはりの飾から、帯の下三寸(一一種三六)位あけてあります。従つて、型紙は

右の圖のやうに上前、下前、後の三つに分けることが必要です。右の圖は例の原型からこの洋服の型紙をとる方法を示したものです。衿が上前と下前との二枚いることをのぞいては、皆前の時と同じです。



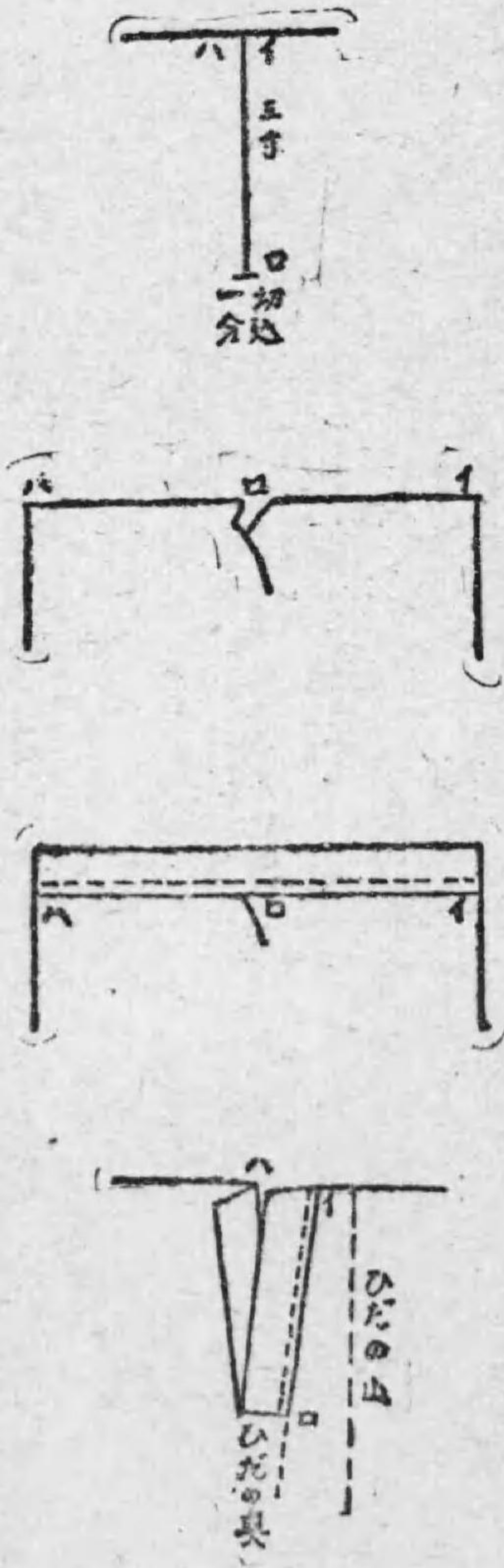
## 七、裁ち方

裁ち方も大體前と同じですから、餘り長くお話しするまでもありません。  
 先づ用布から上前、下前、後を各々一枚づつ、袖を二枚、スカートは二尺(七五糎七六)巾以上の布なら二丈、其の他帶、ポケット、見返しとして巾一寸(七糎五七)、長さ適當の物を三枚取ります。飾りの布からは帶の飾、衿飾りの上前と下前、カフ二枚、ポケットの口等を取ります。用布の總丈は大巾物なら洋服の總丈(縫込、折返しも入れて)の二倍と袖だけ要ります。飾りの布は八寸(三〇糎三)位あればよろしい。

## 八、縫ひ方

1、見返し 上前の裁目に見返しを附けたら、それを對になるやうに左側にも見返しの布を裏から當てミシンをかけます。下前の裁目にもやはり見返しを附けます。  
 2、スカート 先づ一枚のスカートを帶廻り出來上りの半分に脇の縫代を加へた廣さに

た、みます。襷の取り方はきまつてゐませんから勝手ですが、右前合せ目には丁度襷の山が行つて其の深さは身頃の重なりと同じ位であるやうにする事が必要です。そして此の襷の奥は三寸(一一糎三六)ばかり切り下げ、其の裁ち口の留めとスナップを兼ねて一枚の布で次の圖のやうに續きに持出しを附けこれを表に出して襷をた、み、その襷で此の持出しを隠します。續い



て此の襷と對になるやうに前と同じ巾にた、みます。た、みましたらポケットを附ける位置を定め、襷を開き、ポケットを附けます。



3、身頃とスカート を縫ひ合せます。身頃の下端は帯廻りより廣いですから縫ひ始め  
て前と同じやうに縫目が表に出るやうに縫ひ合せます。この場合前の明きはスカートの前の明  
きとそろひ上前の端が襷の山に、下前の端が襷の奥にチャンと合ふやうに注意せねばなりませ  
ん。

4、肩 肩は前と同じです。

5、衿 前と同じ方法で上前と下前と別々に附けるのです。

6、脇 身頃もスカートも續けて縫います。

7、裾 前と同じです。

8、帯 帯の丈は出来上りの帯廻りに下前持出しの中と縫代三分(二種一三)加へただけい  
ります。その廻りを一分五厘(〇、五六厘)づゝ釦で折り、縫目の上に載せて縫附けます。

9、袖 袖も袖付も前と同じです。さあ之で出来上りました。

### 九、女兒服縫ひの覺へ方

この編の初めでも述べましたやうに、洋服は和服のやうに一定の裁ち方が決まつてゐる適宜  
に加減するといふことはなく、どうしても型を必要とするものでありますから、たとへ女兒服  
のやうな簡單なものでも初めから順序を踏で、脇、肩の接合せ、衿や袖の割などに狂ひのない  
やうに、正確なものを作り、これにたよれば布を裁つときに、決して裁ち間違ひをしたり、餘  
計の布を費したりすることはありません。型紙ができ、用布の準備が整ひましたならば、布地  
を並べて型紙をその上に配列します。型紙はまづ身頃、袖、スカートといふやうに、大きい主  
要なものから先へ並べ、なるべく無駄のないやうに小切をとります。但しいくら布を上手に使  
ふといひましても、布地の目を考へずに並べることはいけません。和服なら大抵の場合、縦横  
を間違へて裁つといふことは少いものでありますが、洋服の場合は布が細かに裁切つてあるた  
めに、ともすると縦横を間違へたり、左右同じ物を取つたりすることがあります。それで型紙  
を並べますにも初めから篋で標をつけずに、小さい針で假に押へて充分配置と布目を考へ、型  
紙に縫代の見えないところへは、それ／＼の縫代と、袖口や裾口には折伏を加へて、初めてチ  
ヤコなり篋なりで標をつけて裁落します。以上の裁ち方の注意をよく呑み込んでから、皆様が

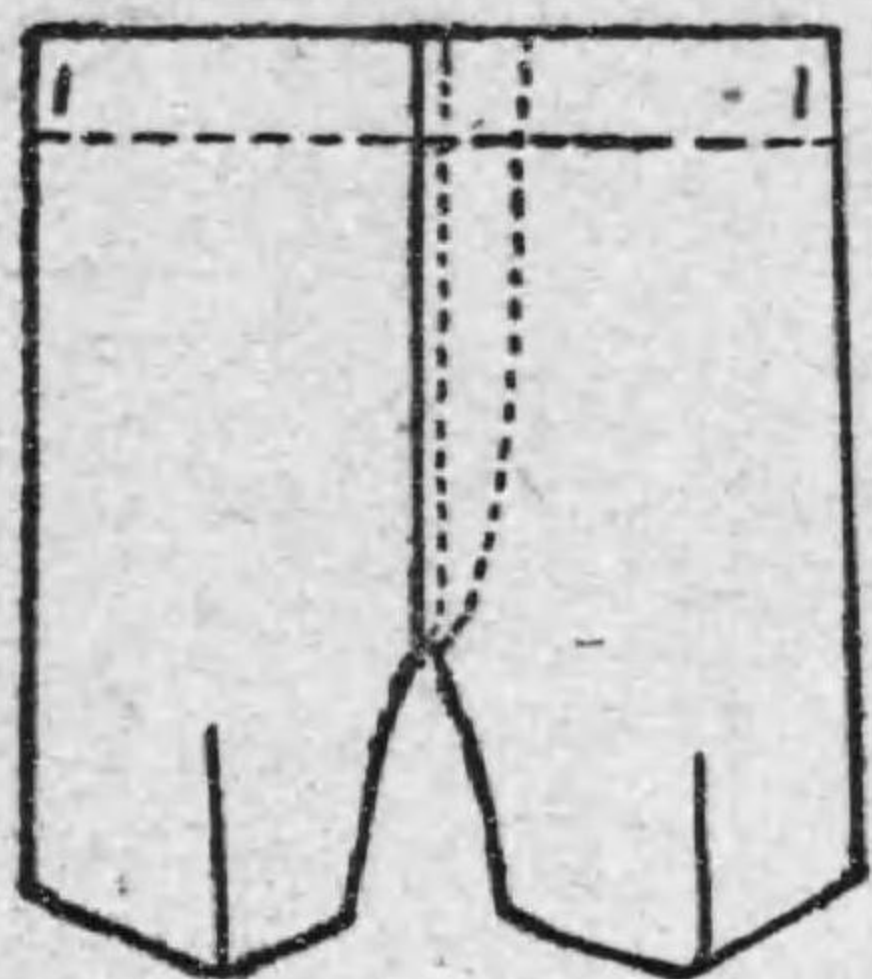


女児服の仕立方について今一度私の今まで申し上げた所をお読みになれば大變覚え易からうと存じます。

## 第七章 男児半ズボンの裁縫

### 一、型紙

半ズボン

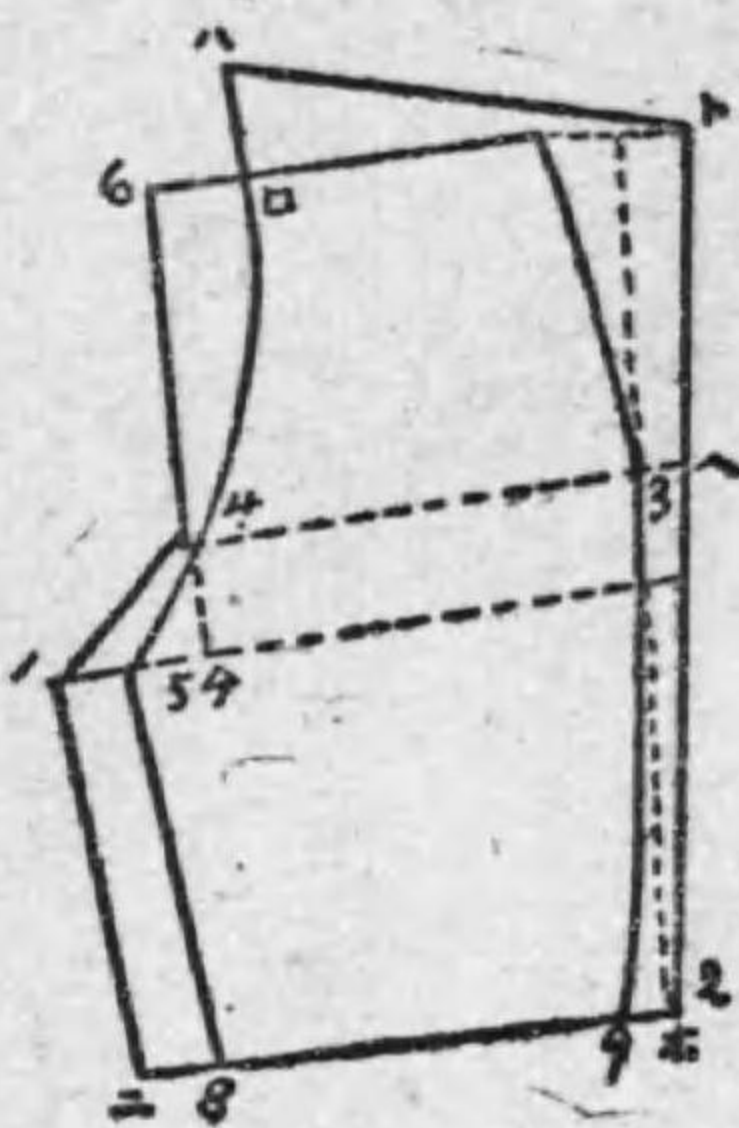


今度は男児の半ズボンのお話をしますが、お手許にある男子ズボンを取つて此の説明に引合せて下さるやうに願ひます。大體の形や仕立方は子供と大人とさうちがふ物ではありませんから御参考になります。全く實物なしに説明することは、たとへ皆様と對ひ合つても出來ないのですからまして筆の説明だけでは行き届きません。どうか實物を御覧になつて私の説明の足らぬ所を補ひつ

御研究下さるやう願ひます。

前圖は膝頭の上まで來る短い男児用の半ズボンで、チョツキの釦にかけます。後には敷當を附けるのです。敷當の事は普通シツクと申します。此の形はズボンの基本的の形でありまして種々の工夫はこれを本にして生れます。此ズボンは前明きの下前に持出し、上前に見返しを附けてボタンでとめるのですが、上前にも持出しを附けて單に前を合せてボタンを掛けない事にしますと四五歳位の男児には特に便利でござります。

ズボンの製圖



前

- A.1=股
  - 1.2=股
  - 1.3=腰廻の十四分ノ一
  - 3.4=同じく十分ノ三
  - 4.5=同じく六分ノ一
  - 4.6=眞直
  - 6.7=腰廻の二分ノ一
  - 8.9=1.5より1寸狭い
- 後
- 5.1=腰廻の廿四分ノ一
  - 6.ロ=同
  - ロ.ハ=同じく十二分ノ一
  - 8.ニ } =5分
  - 9.ホ } =5分
  - 3.ヘ=腰廻の廿四分ノ一

ズボンは前と後二枚の布を縫合はせて片脚にします。前と後の製圖は丁度袖のやうに重ねるのが便利でござります。右圖が即ちそれですが之を見ても分りますやうに外まはりの大きい

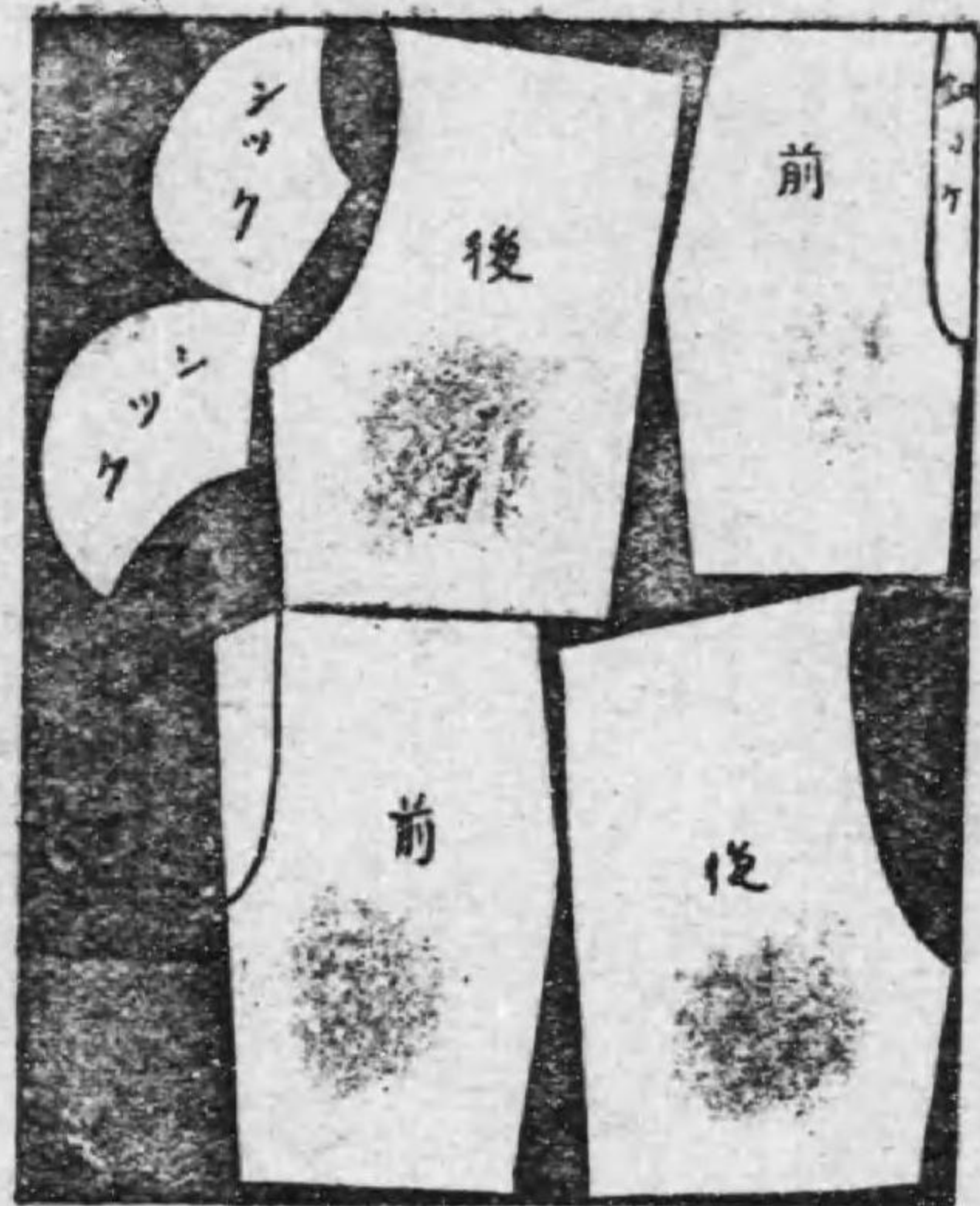


が後で、内まはりの小さいのが前です。圖は前の方を第一に作ります。  
 寸法のとり方は洋服の下着の處で説明しておきましたが、ズボンの製圖に必要な寸法は次の通りですから、これを實地に子供さんを計つて分數の答へも計算しておくのが便利であります  
 股上、股下、腰廻りの十分の三、四分の一、十二分の一、十六分の一、二十四分の一等と圖の下に符號をつけて各部の寸法の割出しを記しておきましたから、廣い西洋紙に鉛筆で圖を引いて御覽下さい。

前の圖でも分りますやうに重ねて圖が引いてありますから、どちらかの圖を別の紙に移すのです。即ち圖を引いた紙の下に他の紙を敷いてズボンの前型(854673198)の線の通りに針で孔をあけそして下の紙は其の點線のまはりに縫代を加へて裁ち切り、上の紙は後型(ニイチロハトヘホニ)の線のまはりに縫代を加へて裁ち切つて前後の型紙を作るのです。但しどちらにも裾には折返しを一寸位いれておかねばなりません。  
 見返し、持出し、シツク等の型は此の型紙をもとにして作るのですが、後章に於て順次お話いたします。

## 二、裁ち方

一、前の左右二枚、後の左右二枚 これ等は上の型紙を置いて裁つのであります。そして一



つは型紙を裏返す事に氣を附けて下さい。

二、持出し 前の落しから其の儘に巾一寸二

三分(四纏五四—四纏九二)の布を取ります

三、釦かけ 持出しと同じ形であります。

四、シツク 後の型紙に合わせて上圖のやうな

形の物を二枚作ります。

右の外に天然木綿のやうなもので次に記す布を作つて下さい。

五、上の見返し 二枚(之はズボンの上端へ

附けます)。巾は二寸(七纏五七)長さは適當にして二枚準備しズボンに合はせて裁つのです。



- 六、持ち出しの裏 表と同じに裁ちます。
- 七、ボタン掛けの裏 之また同形に裁ち、中につけます。
- 八、ポケット 巾三寸(一一纏三六)長さ六寸(二二纏七二)の布を二枚用意します。

### 三、縫ひ方

半ズボンの縫ひ方は次の順序によりします。



一、ボタン掛け ボタン掛けは上の圖でも示してありますやうに、上前の裏へ縫ひつけるのですから、天竺の裏地が中になるやうに表地とを真直ぐに縫ひ合はせ、更に引き返してミシンをかけ、ついでボタンの孔をかざります。

二、ボタン掛けの縫ひ付け 前に掲げた上前の型紙のチの所を二分(〇、七五纏)切り込み、その上を三ツ折りしてミシンをかけるのです。かうしておいてその裏へボタン掛けをあて、縫ひつけるのです。



三、持出し 持出しは下圖のやうに下前あきに縫ひ付けるのです。従つて、表地と裏地とを合はせ、曲つた側を縫ひ合はせ引き返し、釧でおさへます。

四、持出しの縫ひ付け 上前にしたと同じ位置に、下前にも切込みを入れます。そしてその所から上へ、持ち出しの表の端を縫ひつけ、又縫目を割つて持ち出しの裏の端をその上へのせます。之が出来上りましたら飾りミシンを表から三方へかけるのです。



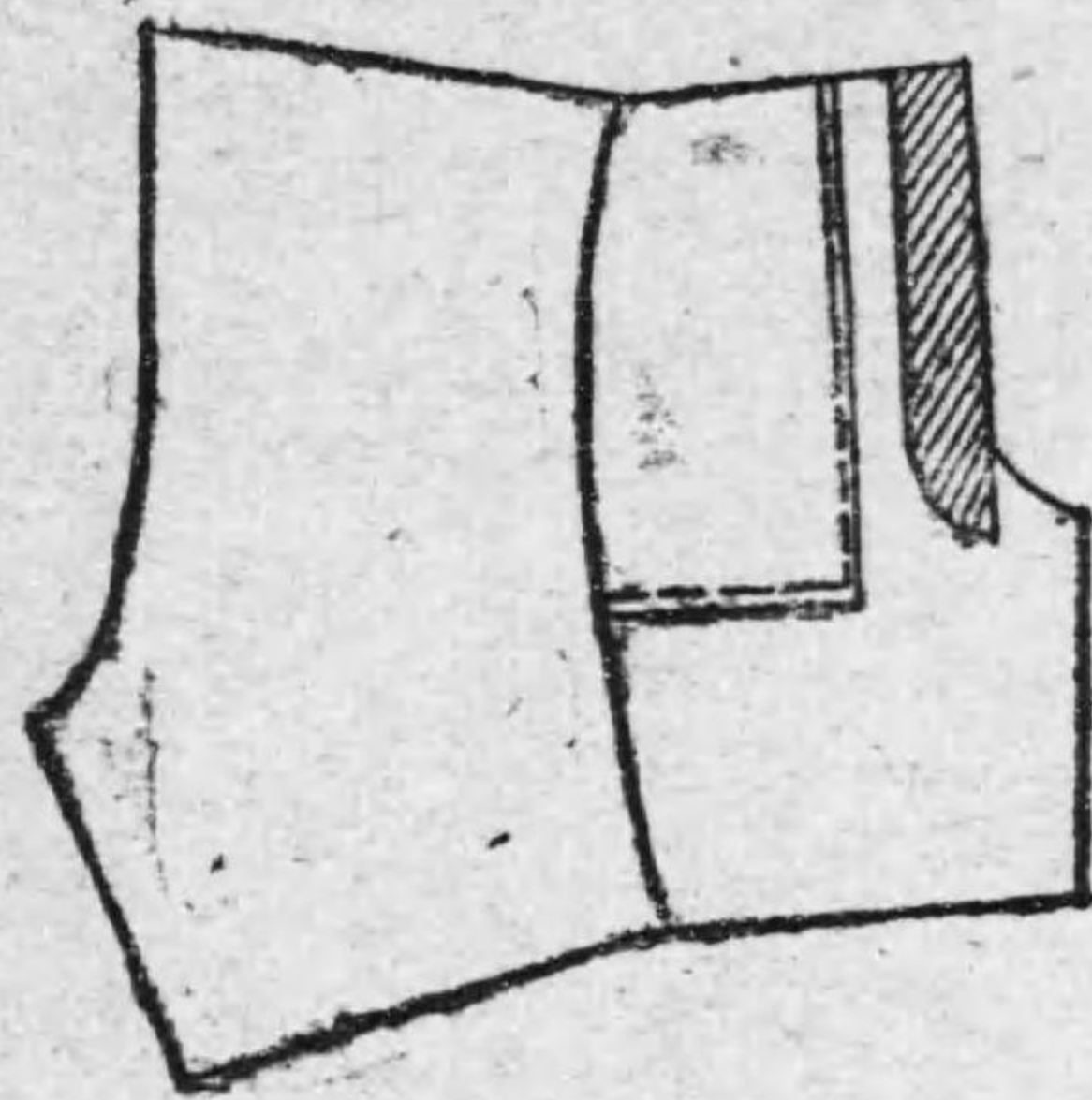
五、ポケット 前のズボンの製圖をもう一度あけて見て下さい。あの圖で三といふ印の上三寸(一一纏三六)から三寸五分(二二纏二五)の間をポケットの口明きとし、前後の布を脇で揃へ、口明きの上と下へ二分(〇、七五纏)切込みます。次に前布の口裏へ表地と同じ布で上圖のやうに見返しをつけるのです。さて、之が済みましたらポケットの布、後の表、脇の裁ち目を揃へて、口明の間を縫



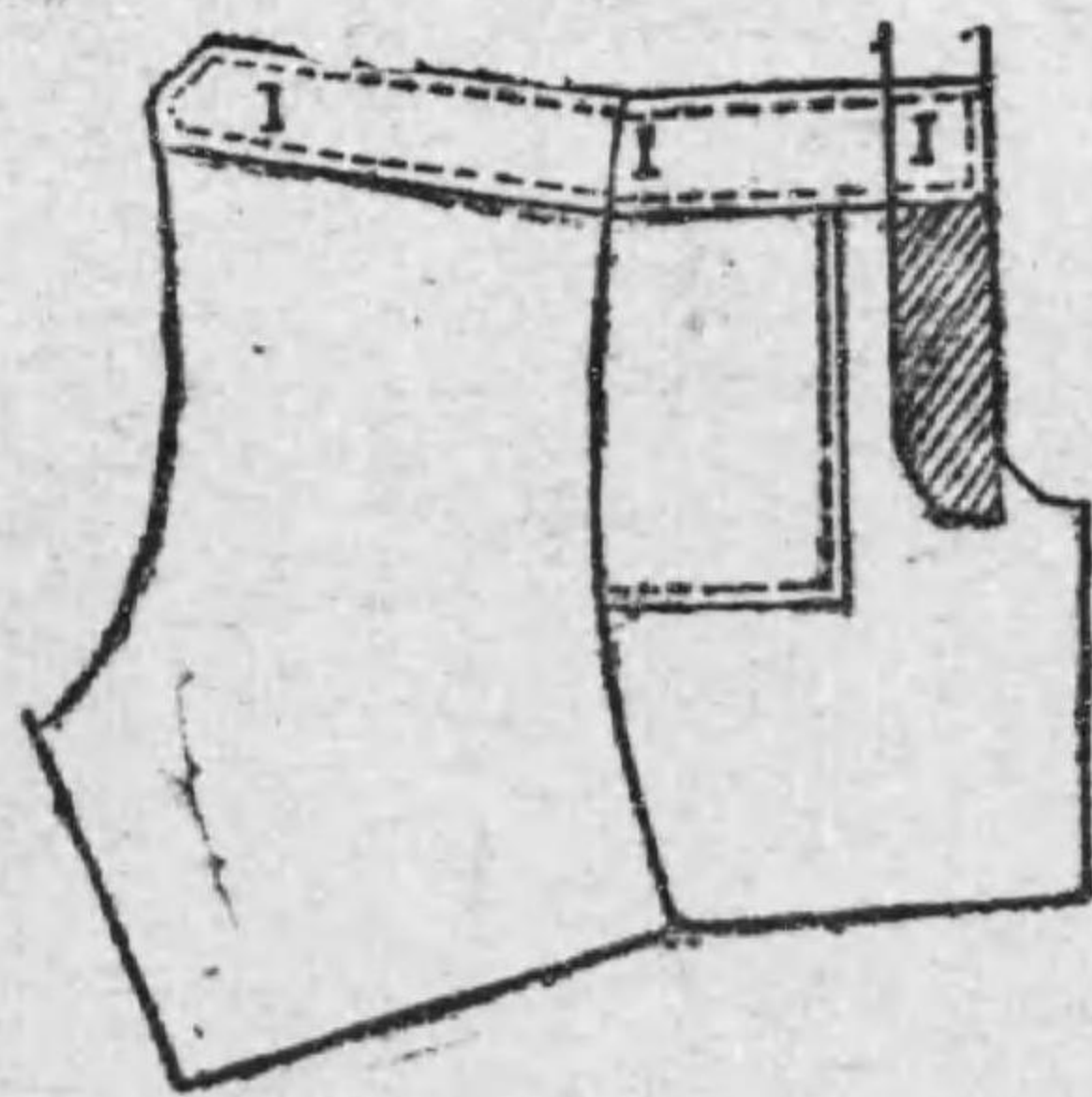
ひ合せ、縫代の後を折り、表からミシンで、きせをしておくのでござります。

六、脇縫 先づ、前後の脇を合せ、口明の上下をポケットの布と一緒に揃へて縫ひます。ポケットの奥は前布に縫ひつけるのです。之はポケットを内部につける時のお話であります。

方け附のトツケボ



し返見のし廻腹



前布の表へ附けたものも亦可愛らしいものです。

七、上端の見返し 見返しの布は長いのですから脇を縫ひ合はせたら、後が一寸(三厘七八)位斜に上へあがつてゐる形に合はせて、脇をつまんで縫つて下さい。次に上の端と後の斜に落した所を縫合はせ、引き返して、廻り全體にミシンをかけるのです。

八、後の股上 右と左の布を縫ひ合はせて縫目を割りましたら、そこをテープでかぶせ、その両側をミシンで押へて下さい。

九、シツク シツクは、後の型紙に合はせて上圖のやうなものを二枚裁ちます。そして後の股上のところを縫ひ合はせて縫目を割り、丸味のある方のまはりを鋸で折つて、左右の後の上へのせ、之また周圍をミシンで縫ひつけるのです。

十、前 製圖の所で掲げた圖で、(三)と(四)との間を左右に縫ひ合はせ、縫代は左に折り、表からミシンをかける



のです。

十一、股下 前と後の股下を合はせ、一方の裾から他の裾まで縫ひつけます。縫代は割つ



てもよいし、また前の方へ折り、表からミシンをかけてもよろしいのです。

十二、裾は折返し、三ツ折ぐけのやうにしながらまつりつけるのです。」

十三、ボタン 前の持出しにボタンをつけましたら、上端へ孔をあけます。」

#### 四、覺へ方

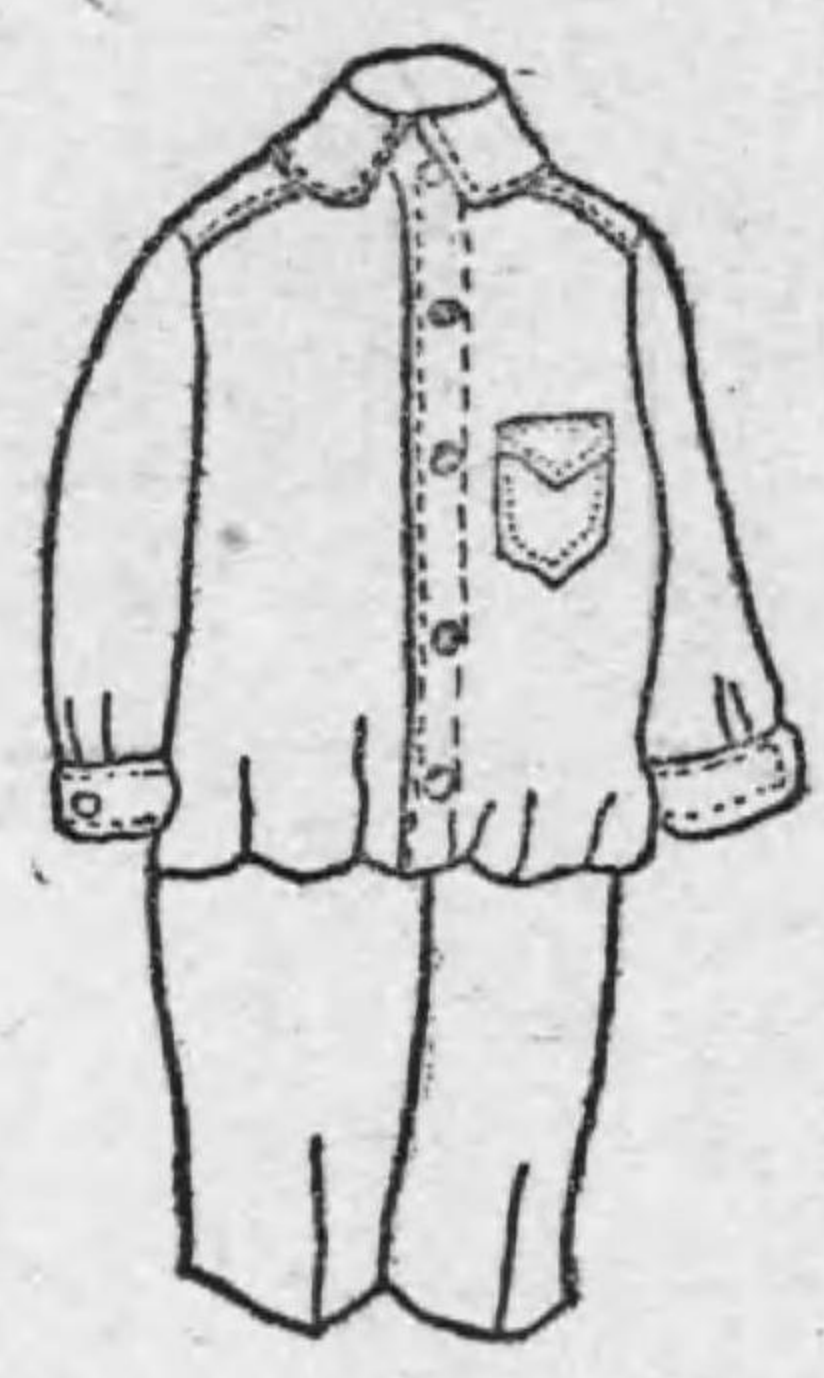
さて男児半ズボンの仕立方は之で終わりました。之を覺へますには、先づ初めの製圖をよく頭に吞み込むことが大切です。皆様はあの製圖を見て「なるほど」なるほど」と頷く丈けに止めず、自分であの製圖を見ることがなしに、作つて見ることが大切です。あの製圖さへスラ／＼と出来れば、他は、自然と覺へられる道理なのです。

次に半ズボンで注意せねばならぬのは縫ひ方ですが、之も、十分覺へ込みますには、御手元に出来上つた半ズボンを置いて、それをよく参照してお稽古するより他に、よい方法はあるまいと思ひます。

### 第八章 男児用シャツブラウスの裁縫

#### 一、シャツブラウスに就いて

スウラブツヤシ



着用するのが手頃と思ひます。

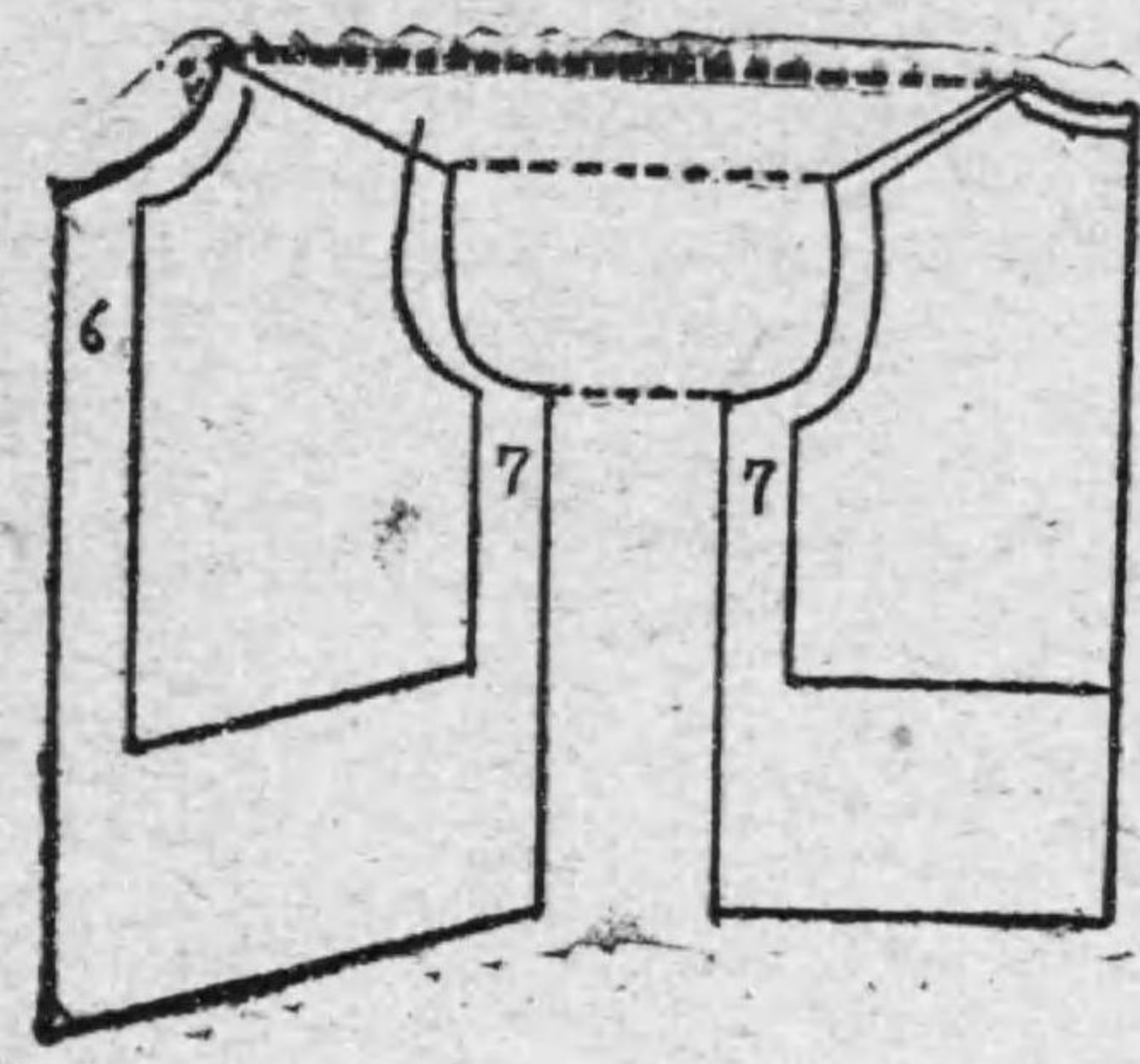
#### 二、型紙

シャツブラウスと申しますのは、上圖にあるやうな形の上衣でありまして男の子の洋服として半ズボンと一緒に一般に着用されてゐるものであります。夏でありますならば、シャツブラウスに半ズボンがよろしく、冬ならばネルのシャツブラウスの上へ、更に上衣を

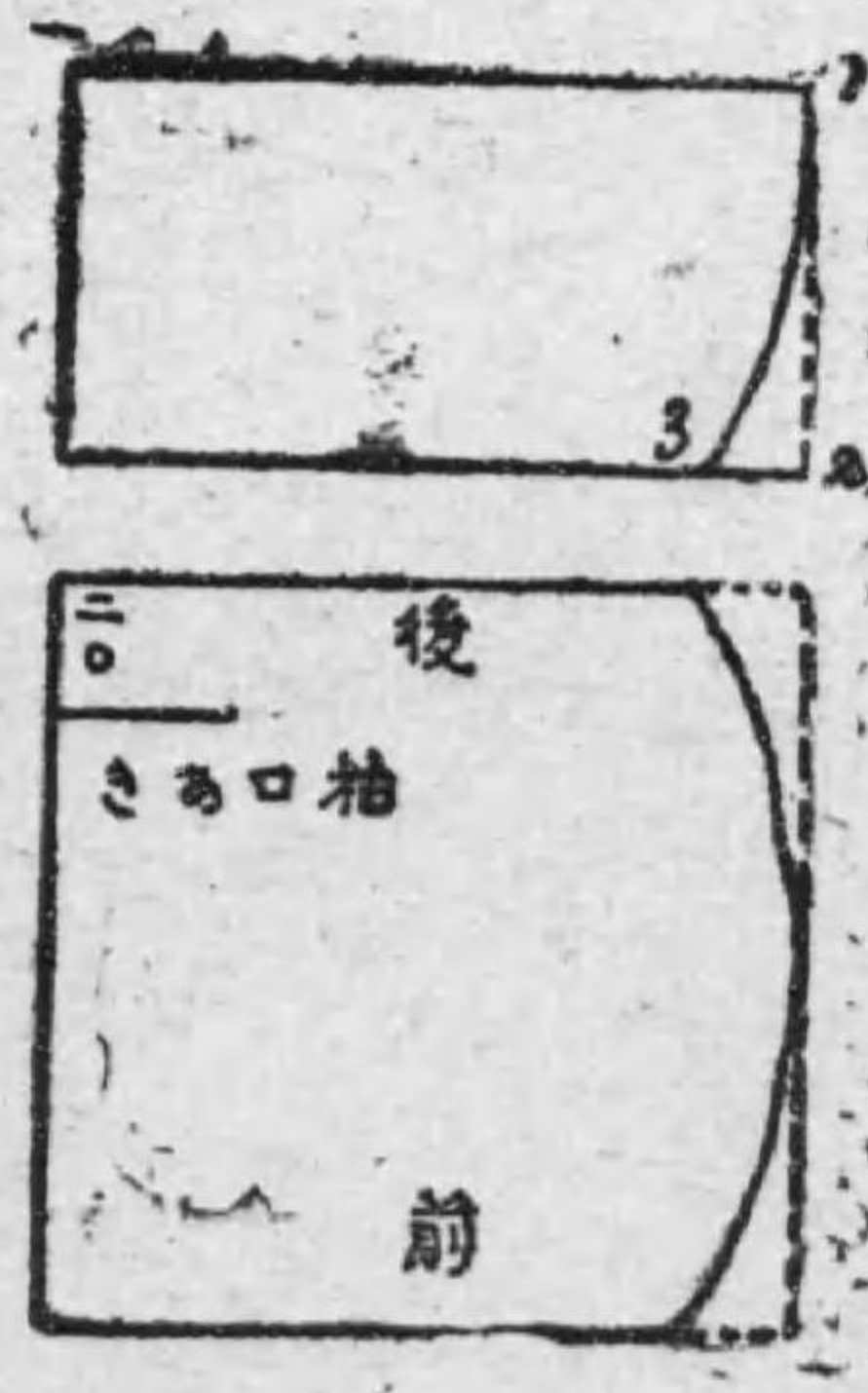


シャツブラウスの型紙はウエストの原型を基にして作ります。即ち左圖がその型紙(身頃)であります。肩落ちは前も後も同じにし、肩當をつけるに便利のやうにします。前は小さい貝ボ

シャツブラウスの型紙(身頃)



シャツブラウスの型紙(袖)



タンで留めることにしまして六分(二種二七)廣くし、脇も前後ともに七分(二種六五)位廣くします。裾は五分(一種八九)位長くします。之は裾にはゴムが入つて腹部をしめ、身頃を腰の邊まで垂れ下げるためです。

袖は、袖下の縫ひ目と脇の縫目を合はせます。この方法は凡てのシャツに通有の方法であります。

身頃の型紙について肩落ちから脇までの深さをはかつて、これを袖型の12にします。若しこれで袖が小さいやうでしたら身頃を幾分くり下げ、それに應じて12も長くするのです。2は身頃型紙の胸巾から脇にくり出してある其の深さに應じて定めます。後の袖下から二寸(七纏五七)上に約二寸五分(九纏四七)切り込みます。袖口の方は袖巾は前後一寸(三纏七八)づゝ位せまくするのが普通です。

### 三、裁ち方

シャツブラウスの裁ち方は次のやうにいたします。

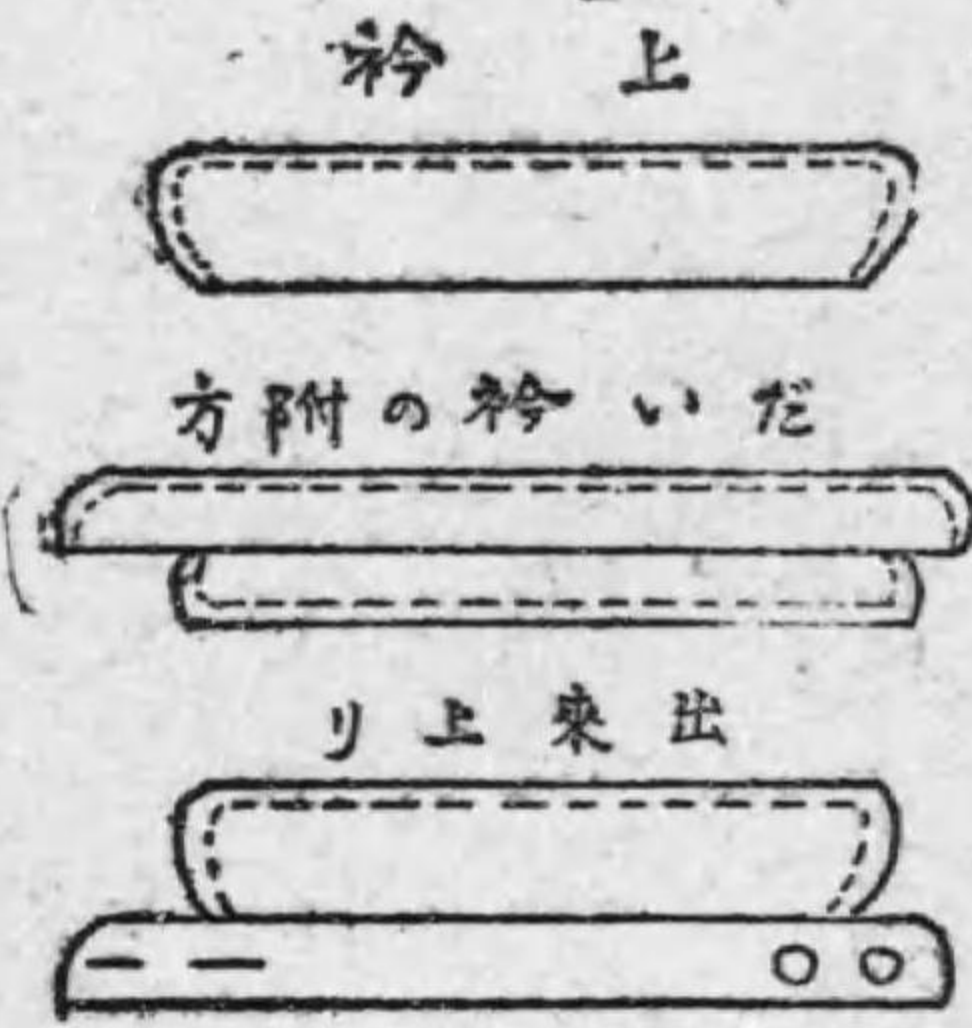


- 一、後身頃 背を輪にして、型紙をあて、一枚裁ちます。
- 二、前身頃 二枚。
- 三、前の見返し 巾は一寸二分(四纏五四)、丈は身頃の丈を揃へて二枚いります。
- 四、肩當 巾は一寸(三纏七八)、長さは身頃の肩に揃へ、二枚とります。
- 五、ポケット ポケット口と共に一枚つゝ、いります。
- 六、袖 二枚。
- 七、袖口あき持出し、見返し 兩方共長さは三寸(一一纏三六)ですが、持出しの方は巾を一寸(三纏七八)、見返の方は巾を七分(二纏六五)として二枚つゝ、とります。
- 八、カフ 巾は狭い方で二寸五分(九纏四七)二つ折り、長さはそのお子さまに適宜合はせてとります。
- 九、カフの芯 二枚。
- 十、衿 衿の事は次の縫ひ方でお話することにしたしませう。

#### 四、縫ひ方

シャツブラウスの縫ひ方は次の順序でいたします。

- 一、見返し 上前と下前へつけます。
- 二、ポケット ポケットを作つて縫ひつけます。
- 三、肩合せ 肩は縫目が表へ出るやうに縫ひ合せて縫目を割ります。
- 四、肩當 肩當は布の兩側を一分五厘(〇、五六纏)づゝ折り、之を肩の縫目の上へあて、ミシンで押へます。
- 五、衿 こゝでは折衿ですから上衿と臺衿の二つがいります。  
上衿 は巾一寸四分(五纏三)位にし、丈は頸の廻りに合はせ、それに兩端の縫代を足しただけのもが二枚いります。ところで、之を上圖のやうに合せて、三方を一分(〇、三七纏)の縫代で縫ひ、更に引き返して再び三方にミシンをかけます。





臺衿 是中一寸一分(四纏一六)位、長さは仕上りの上衿に合せて一寸八分(六纏八一)長いものを一枚、同じ寸法の芯を一枚と都合三枚必要です。そこで前の圖のやうに衿芯の上へ臺衿の表をのせ、更にその上に上衿の表を下にしてのせ、再びその上に臺衿をのせて、三方のまはりを一分五厘(〇、五六纏)位の縫代で縫ひ、引き返します。ボタンとボタン孔は、身頃につけてからの方がつけやすいやうです。

六、衿つけ 上衿の両端が見返しを中心にくくやうに臺衿を身頃の衿廻りに合せます。若し衿が身頃の衿廻りに合はなかつたら、身頃の衿廻りを、あごの深さで加減して修正しなくてはなりません。故に初め身頃の型紙を作る時にあごのくり方を幾分浅くしておいた方がよろしいです。

衿を附けるには身頃の裏から衿の裏をあて、一分(〇、三七纏)あまりの縫代で縫ひ、衿の表は裏に合はせて端を折込み、其の上に表からミシンをかけます。但し下前の臺衿は見返し一杯上前の臺衿は六分(二纏二七)ばかり見返しの外に出ることを御注意下さい。

七、袖口あき 袖下は脇のつづきに全部縫つて行くのでありまして、袖口あきは別にあけて

あるのです。初め、この上部へ持出しを附け、下部へ見返しをつけます。そしてこの見返しは表からつけて一種の飾りとするのでありますから見返しの布は格好の成る可く良いやうに裁ち、周圍を折り込んで表からミシンをかけます。

八、袖つけ 袖つけは袖下も脇も開いてをりますから大變樂です。縫代は身頃の方へ折り表からミシンをかけるのです。

九、脇と袖下縫 はつゞけて袋縫ひをするか、後の方へ折つて伏せ縫ひにいたします。

十、裾 裾はゴムテープの通るやうに折つて縫はねばなりません。ゴムテープの両端は見返しに縫ひ付け、その端にホックをつけます。

十一、袖口 カフは中二寸五分(九纏四七)の布を中を表にして二ツ折りし、その上にカフの芯をのせ、その両端を折山の三方を續くやうにして縫ひ返します。又袖の方の袖口をカフに合ふやうに山にギャダをとり、カフの裏を袖の裏に縫ひつけます。次いで表と裏を合せ、端を折り込んで、之を裏の縫目の上にあて、表からミシンで縫つてカフの周圍にミシンをかけます。



十二、ボタン、ボタンの孔は前の見返しにあげ、之と釣り合ふ所へボタンをつけるのです。

### 五、覺へ方

シャツブラウスの仕立方は之で済みました。之を覺へますにも、やはり、實物と對照して研究するのが一番よいと思ひます。近頃ではシャツブラウスは到る處で弘く用ひられてゐますから容易に手にせられることが出来ると思ひます。

前にも申し上げましたやうに、シャツブラウズはウエストがその基本になつてゐますから、ウエストの原型を如何にして、シャツブラウズの型にとり入れるかといふことをよく考へなければなりません。

縫ひ方は私の申し上げたところと、實物とを對照して研究なさるならば、之を覺へるにも左程困難を感じることはないと思ひます。」

## 第九章 エプロンの裁縫

### 一、寸法のはかり方

次の圖は幼稚園前掛といふ、最も簡單な、基礎的なエプロンです。しかし着せて見て一番かはいらしいと思ひます。

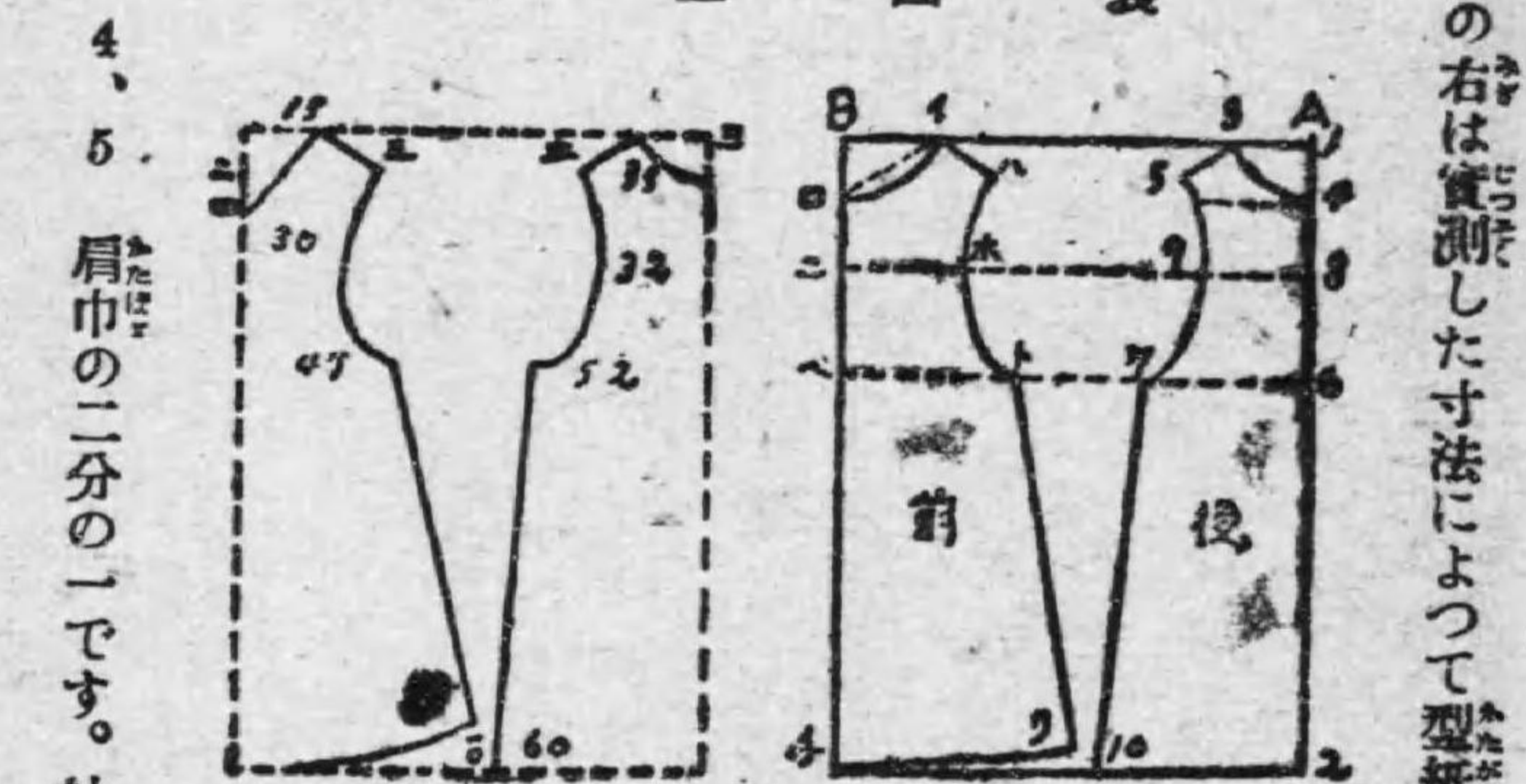
エプロンは洋服のやうにきつちり身に合ふやうに作る可き物ではなく、大き過ぎる位に作つて置く可き物であります。こゝでは先づ寸法のはかり方から申し上げませう。そして實際にははかつた寸法よりいくらか大きくお作り下さい。

● 卷尺 身體の寸法をはかるには卷尺がよいです。物さしを賣る店には賣つて居ます。表が鯨さしで裏が吋さしのも、中には鯨さしだけのものもあります。

● 後丈 後の、着物の衿附から、裾までの長さ。子供の着物は年々一寸宛長くなる物でありますから、其の積りで長さを定め、裾に揚しておくがよいでせう。



紙 型 製



4、5 肩巾の二分の一です。袖のくりは三つ巻にしますから二分広く裁つておきます

圖の右は實測した寸法によつて型紙を起す製圖で、左は四五歳用の型紙の寸法であります。

洋服類の型紙はすべて半身であります。型紙を作るには先づ實測寸法によつて製圖をして、それから裁ち切るのであります。製圖は後から先にするのが普通です。

△後 A、1 後の衿は三分くり落します。これで

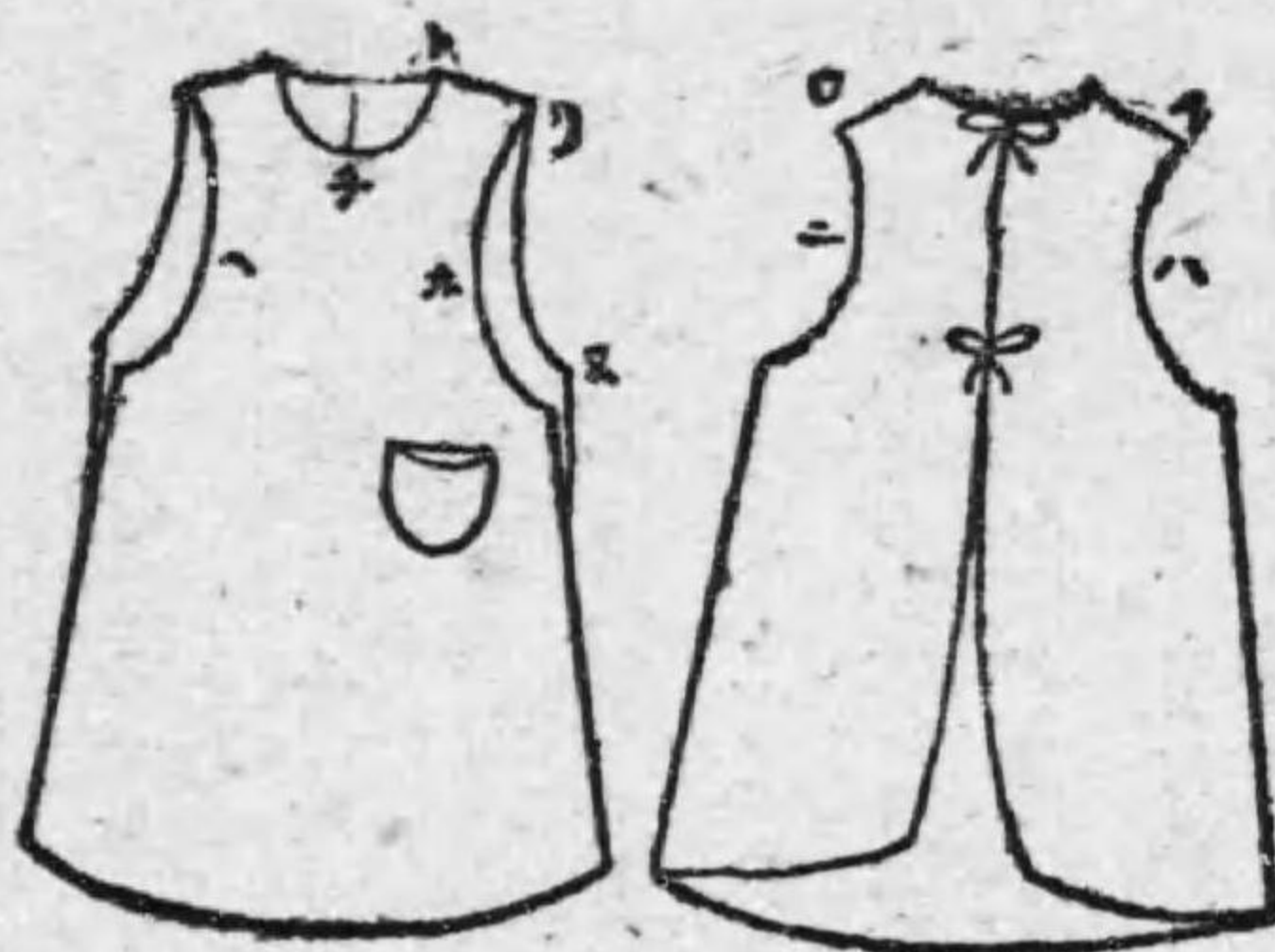
丁度着物の衿附に合ひます。

1、2 後丈です。

A、3 衿肩です。着物の衿肩と同じに裁ち切ります。

A、4 後肩の落ちです。人の肩は、いくら落ちて居る物ですが、着物の上ですから五分(一厘八九)落します。

掛 前 圓 稚 幼



をはかつて下さい。圖のリヌの深さを。

二 型 紙

衿 肩

着物の出来上りの衿肩が分つて居ればよいです。

肩巾 左右の肩の端から端までの長さ。着物の

の肩巾とはまるでちがひます。圖のイロの巾。

背巾 後の兩わきの間の長さ。圖のハニの巾

胸巾 前の兩わきの間の長さ。圖のホへの巾

胸廻り 着物の上でゆるくはかります。

あご 着物の衿肩の際から、あごの下の適當

の所までの深さ。圖のトチの深さ。

袖のくり 肩山から脇の下の適當の所まで、

すべてかういふ深さは人々の好みによるのでありますから、あなたがよいと思はれる所までの深さを



4、6 袖のくりの深さです。

6、7 胴廻りの二分の一が半身の中になります。其の半身の中を、後の方を五分(一

纏八九)位廣くいたします。

8、9 これは背巾胸巾の位置でありますから4、6の中央に定めます。そして背巾の

二分の一と二分の廣さにします。

2、10 裾巾です。これは廣い程よいのでありますが、布巾との關係を考へて前の裾の

方を五分乃至一寸(三、七八纏)廣くします。

△前 後の製圖で説明した事は省いて主な點だけ申します。

イ、ロ あこの深さです。イからロに斜にはかつて口を定めます。

イ、ハ 後の5の長さと同じにして、三分(一纏一二)の落ちを付けます。

ト、リ 後の脇7、10と同じ長さにします。

製圖の説明には1、2とイロハだけでは符號が足りませんからA、B、C、Dなどの字を使つて見ました。読み方をよく覺へて下さい。

### 三、材料と裁ち方

キヤラコが最も適當であります。天然木綿は洗濯しても眞白になりません。キヤラコには糊氣の多いのと、糊無しといふのとありますが、糊氣のないのが良品です。巾は二尺四寸(九〇纏九)ある筈ですが、二尺三寸(八七纏一)位が普通のやうです。後紐にはテープを付けますから、曲尺で一尺あまりいります。

裁ち方



巾六分の斜布を長さ一尺七寸程(六四纏三六)裁ち出しの布から取つて下さい。

### 四、縫ひ方

一、ポケット 口の所を飾りになるやうに縫つてまはりを裏に折つて烙熨でおさへておきま



す。そして前布の中央と脇との間で、袖のくりより五分下のあたりに縫附けます。左右はどちらでもかまひません。

二、肩合せ 前と後の肩を縫合せます。後を一分づらして縫ひ折伏せて表から飾りミシンをかけます。

三、衿まはりと紐 長い斜布は衿まはりと後紐にします。斜布の一方の側を一分あまり烙燻で折、他の側も同じやうに烙燻で折り、更にこれを二つに折つておきます。扱此の紐の中央を衿まはりの裏からその中央にあて、裁目をそろへて一分の縫代で縫附けます。すべてミシン縫ひで紐を付けるには裏から縫ひ附けます。そして紐で衿まはりの裁目を包み、紐の端から端まで、表から飾りミシンをかけます。

四、袖のくり 袖のくりのまはりには三つ巻にします。若し六ツ難しかつたら烙燻で折つて縫つてもよいのです。

五、脇縫 肩と同じやうに、後に折伏縫します。洋服類は縫込を後に折るのが普通です。一六、裾 三つに折つて表から飾りミシンをかけます。三つ巻にしてもよいです。

七、後紐 適當の高さの所にテープを附けます。

## 第十章 外套類の裁縫

### 一、外套の色々

外套類といひますのは、オーバーコート、レインコート、スプリングコート、ケープなどを總稱したのですが、これは何れも皆それ／＼目的は違つて居りますが、この全部を整へる必要は決してありません。オーバーコートとケープは大變趣が違つて居ますから二枚作るとしたならばオーバーは地厚の布地で防寒目的で作つたならば、ケープは春秋の季に、ふさはしいさりとした布で作るのが宜しう御座います。

レインコートはゴム引の布地で作つた安價な防水マントを以て代用すればよいのです。

### 二、用布



方ち裁の套外兒女



分七六ルーヤ一巾寸六尺三

一番上に着る着物であり、殊に冬の厚着の上に重ねるのでありますから緩みは充分に入れな

裏地は皆新毛の色物で宜しいでせう。  
所用尺は、八九歳の子供で一ヤール半位、其他は之に準じます。

三、オーバーコートの型と裁ち方

位分八寸六尺一套外兒女  
割四み緩型套外



オーバーの布地の中には割合に安い毛織類があります。色物や柄物で一ヤール三四圓のスコッチ風のものなどに面白いものがあります、少し上等になりますと、モヘミヤなども暖かさうで綺麗に見えますが持ちがあまり強くありません。シルやラクダなどは子供の常着としては上品過ぎます。ケープ類はサージ、ヘル、又はギャバージンなどでありませう。レインコートにはクレパネットの和製が安い様です。



- ければなりません、なほ二三年は着る豫定で各部の中も丈も伸す事の出来るやうに裁ちます。
- 一、總丈、着物と同じことです。
  - 二、背中、胸巾、袖巾共に三四分廣くします。
  - 三、袖丈、着物より一寸(三厘七八)位長くします。
  - 四、胸の打合せは一寸五分(五厘六)乃至二寸(七厘五)です。
  - 五、製圖法は普通洋服型原型によります、作圖について研究して下さい。
  - 六、裁つ時は縫代は充分に加へて置くことが必要です。
  - 七、意匠としては布の任意の處を接ぎ合せにするのでありますが、地質が厚いのですから變などはあまり作らぬ方が良いでしょう。刺繡及別布の配色等も裾、衿、カフス、など位に止める方がよろしいでせう。

#### 四、オーバーコートの縫ひ方

オーバーコートの縫ひ方は洋服の内でかなり難かしい方です。夏物や冬物を幾枚も練習した上

- でないとい寸困難であります。然し熱心さへあれば決して出来ない事はありません。
- 一、袖、一枚袖ならば直ぐに袖下を縫ひます。
  - 二、カフスは芯地を入れ表裏輪にして、袖の裏からカフスを付け表にまつりつけます。
  - 三、身頃、ポケットを第一につけます。
  - 四、芯地を前身にあて周りを駈かけて抑へ、衿の折返しの線迄刺し縫をいたします。
  - 五、刺縫が出来上りましたならば見返し布を合せます。
  - 六、次に肩合せ胸合せをいたします、縫目は全部割ります。裾は折返して駈かけて置きます
  - 七、衿付、裏衿と芯地を合せ衿越し迄を半月形にさし其他は斜線にさし、表衿と合せます。
- 表衿は衿割の分だけ合せ裏衿は全部付けます、地厚の物は裏の三つ衿もまつり縫にすること  
があります。衿布は地質の伸縮が同じでありませぬから裁斷の時に少し大きい目に裁つて置  
きます。大體が出来上つてから芯地で衿型をつくり、付けて見ながら衿布を作る方がよいの  
です。
- 八、裏付、裏付けは裏布を縫ひ、裾折返しの切り口二分の縫代に綴とち付け、折込みにして表よ



り二三分短かくし、脇縫を綴ぢ見返し布の上に丁寧に載せ、袂をかけて裾前からぐるりと一廻りにまつり付けるのであります。

九、袖付は、普通の洋服と同じであります。

十、穴かぶり、ボタン付、仕上げをするのであります。」

五、ケープ類に就いて

ケープには種々の型がありますが、原理は同じでありまして、變化は皆應用に屬するものであります。ケープは和服にも洋服にも兩用になりますから便利であります。また寸法がつまりましてもオーバーコートよりは割合に永持ちするものであります。春秋のしやれ着には地の厚くない毛織物類を選び、防寒用としては厚地の毛織物類を用ゐます。

裏は肩裏、總裏どちらでも勝手ですが、こゝには一般的なものを説明いたします。

六、ケープ類の型

衿の取方のやうにウエストの原型を肩で五分位重ね、圖のやうに、衿割りの線から各斜點線

(1) 折返して衿型をとるところ



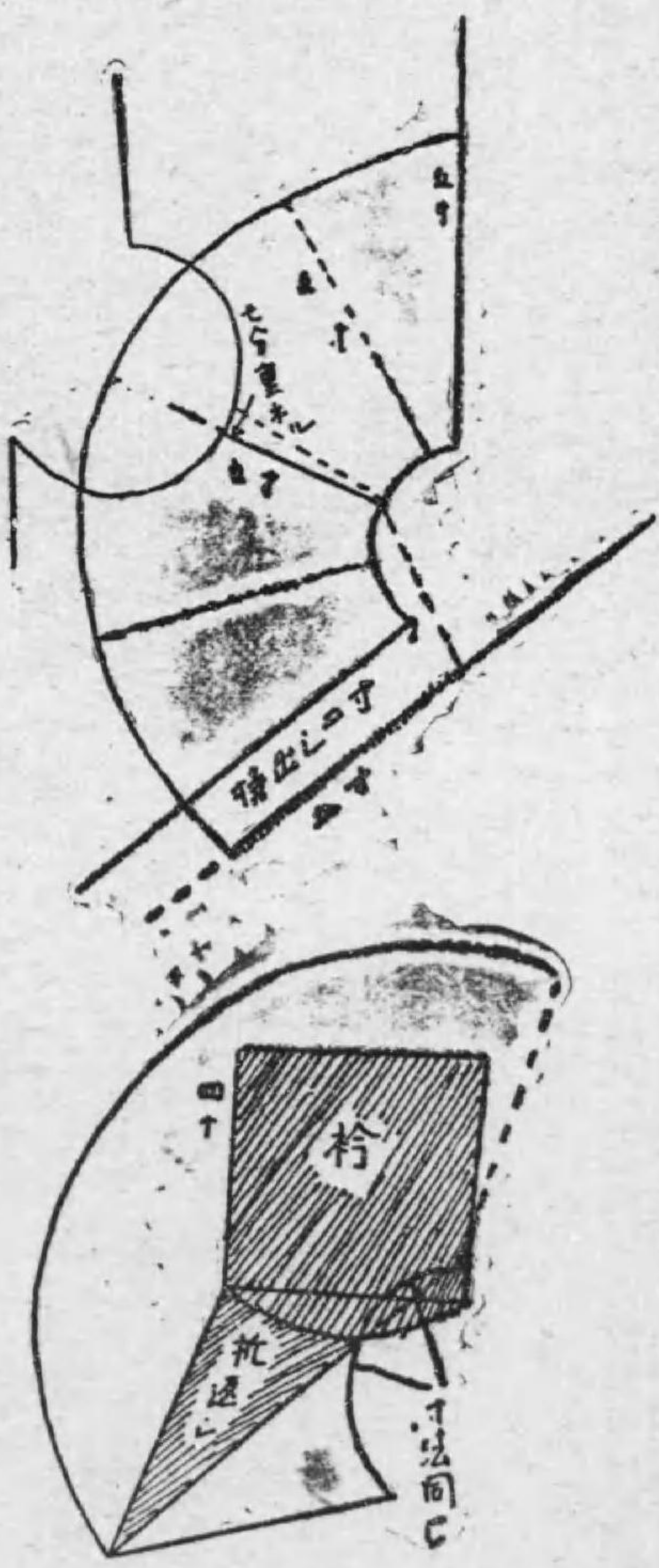
(2) ケープ肩布の裁ち方





によつて同じ寸法とし、幼児は四寸位から、十歳以上は七八寸位迄の長さに肩布をとりまします。  
 総丈から肩布を引いた残りの寸法に胸布をとりまします。(幅は胸廻りの二倍位であります)

幅寸六尺三圖方ち裁ブーケ  
 (寸六尺一用兒女歳八)分一ルーヤ一



衿は折衿、ヘチマ衿など任意に外套と同じく普通よりも大きく取ります。

七、ケープ類の縫ひ方

- 一、肩布の周りを地伸のせぬ様下縫をします。
  - 二、胸布を肩布の周りと同じ寸法に縫縮めます。
  - 三、裾折り返し肩布と合せます。
  - 四、臺衿をつけ表衿即ち見返し布を縫合せます。
  - 五、肩裏をまつり付けます。
  - 六、ボタンを付け孔かざりをします。
- 若し手出しを付ける時は縫ひ合せぬ前の方が仕事はやさしいのですから、肩布の接ぎ合せ目から四五寸(一五纏一―一八纏九)位下まで明く様にいたします。

第十一章 子供洋服の仕上げと手入

一、子供服の仕上げ方

服が縫ひ上りましたならば仕上げをしなければなりません。仕上げの仕様によつて一層出来



榮がいたします。又仕上げが悪い時は折角骨を折つて縫ひ上げてもさほど効果がありません。縫ひ上りましたならば、第一に糸屑埃などを丁寧に拂ひ落して、折込みの中に標針などの這入つて居る事がありますから、之等を十分に調べて後、アイロン臺の上に乗せ、其上に乾いた布を置き霧を吹いて濕りを與へアイロンを掛けます。袖、衿廻り肩などには饅頭を入れて同じ様に仕上げます。又霧の吹き方のむづかしい人は、生乾きの布を上置いてアイロンをかけます。絹物などは霧を吹かず其まゝ仕上げをいたします。

## 二、子供服の直し方

洋服の着丈は實に思ひ／＼な様に見受けます。人の好みといへば致し方のないことでありますが折角型の優れたものでも、着る人の體と調和がとれない長さでありますと誠に惜しいと思ひます。女學校の校服などでも随分調つた型のものもありますが、中には下級の小さい子供さん方迄上級生の様に膝下まで長く着るので其服の感じが變つてしまふこともあります。之等は何とかなりさうなものだと思ひます。

子供は知らぬ間に一人で伸びて行くものですから、外からは成可く老成した装をさせないやうに注意したいものです。無邪氣な心持は何時迄も無邪氣な形に表はして行きたいものです。子供服を作る人は何時でもかうした考を持つて行きたいと思ひます。

家庭で作つた服は、布を惜しまず用ゐますから、胸布などもゆつたりして、割合に永く着られます。けれども丈は決して長くしない方がよいのです。裾の折返しをたつぷりとして置いて春秋に直しさへすれば折目が損する様な事はありません。併しそれでも短くなりましたならばすつかり丈を出して調和のよい變つた布地で二寸(七糰五)乃至三寸(一一糰三)の幅に付け足しをすればよいのです。この方法は裾ばかりではありません。袖口にも、肩巾にも適宜の場所に應用されます。服の丈は十三四歳迄は膝の上位で宜からうと思ひます。

又水兵服の様に二つの着物が一組になつて居りましたのは之を全々仕立直して一枚の着物にする事も出來ます。袖巾が狭くなりましたならば、カフスの布又はバンドなどからとつて袖下に接ぎ合せます。胸巾がせまい時は脇縫に接ぎ布を入れるか、さもなければ背布と胸布の中央から三分の一ばかりの幅の布を裁ち切つて、其代りに廣目な布を中央に入れますと大人の背廣



式のものになります。スカートは天地にして襷を不足にし胴などでウエストを接ぎ合せれば立派な洋服になります。

兄弟の着物が小さくなつた時に、少し釣合が取れないがと思ひ乍ら其まゝ着せる人があります。之は一寸手を入れて其お子様に合ふ様に直して上げてほしいと思ひます。なほ其上に出来るならば何か別の裝飾換へをし調子の變つたものになりましたならば、着る人の感じもよほど違ふだらうと思ひます。

下着類は上着より幅や衿くりなどは大きくした方が便利です。殊に小さい子供は發達も速やかであり、また着脱ぎに不便のない様にするには緩くする必要があります。グロースの股上などは出来るだけ長くした方が永い間使用されます。

この外の廢物から子供服を作る事も出来ます。大人の膝の抜けたズボンから子供のブルマーも出来ます。色の焦けた夏服を裏返して子供のジャケツも作られます、インパネスや外套などから立派な通學服が出来るのであります。ワイシャツが子供の下着になりネクタイが女兒服の裝飾になりお母さんの着古しの和服からも結構、娘さんの着物が出来るのであります。

### 三、子供服の手入方

子供は運動が烈しいものですから汚れもまた烈しうございます。毛織物は、塵埃が地の目に深く浸入してなかく振つた位では取れませんから、地の目が逆にならぬやう丁寧にブラシをかけます。又泥などで汚れた處は水にアンモニヤを少量たらし洗ひ落します。油や汗のよごれはベンヂンで拭ひ落します。襷のあるものならば殊に時々アイロンをあて折目正しくして置きます。又夏近くなつた頃冬物の仕末をする時はすべて汚れを清めて紙袋にナフタリンなどを入れて箱に納めて置きます。夏物は全部洗つてからしまつて置きます。

### 四、子供服の洗ひ方

子供服を洗濯する時は先づ第一に附いて居る裝飾物のリボン造花などを取り除き、綻びがあればそれを縫ひ、ブラシでよく塵埃を除き拂ひ、若し又汚點などがあればそれだけ先きに落してから本當の洗濯にかゝります。



洗濯水はラックス石鹼を微温湯に解かしたものを、其液中に暫時浸して洗濯板の上で軽くブラシで擦り、二三回丁寧にする、板の上で畳み、色物でありましたならば、最後の雪ぎ水の中に錯酸を二三滴加へますと其色が鮮明になります。ボイルなどの様なものはブラッシをかけずに唯振り洗ひで落ちます。そして絞らずに乾かします。毛織物は割合に汚れませんが、でも一寸した汚點などはベンゼン油をブラッシに付けて擦ります。又全部洗濯する時は或部分を解して洗濯しやすくなった方が安心です。之は石鹼液ばかりでなく酸性の液體サンデー水などを薄めて用ゐますと奇麗に洗濯が出来ます。やはり雪ぎ上げた後は絞らずに陰干にして、少し生乾きの時にアイロンを掛けて仕上げます。ピロッドなどは一寸素人には手に負へませんがベンゼンを布に浸して軽く拭き去り裏から湯氣をかければ平らになります。

## 第十二章 子供洋服裁縫上の参考

### 一、子供洋服の覚え方

子供洋服の書物は随分澤山ありますが何れを読んでも能く判らない、といふのが一般の評であります。併し此苦情には次の二つの誤りがあります。

一、子供洋服といふものを日本在來の着物と全く違つたものと初めから思ひ込むで了ふこと  
一、本に書いてあることを唯讀んで覺へやうとすることでありませぬ。

無論形式の上に多少日本在來の着物と違ふ所はあります、而しそれはよく形を見てみると自然に判つて来るほどの違ひです。その縫ひ方に至つては全く同じといつてもよいのです。

それでありませぬから、子供服を考へる時も丁度日本の着物を考へると同じ心持に考へて、書いてあることを讀んで合點せずに、讀みながら布を裁ち、讀みながら縫つて覺へるやうにして下さい。

多くの人の難しい判り難いといふ製圖にしても、初めから面倒臭がらず、片一方に紙を括けて置いて、説明の通り一線づつ、引きながら製圖をすれば何の苦もなく覺えられるものです。またさうして貰はない限り、どんなに説明を簡單に判り易く書いた所で、讀む人に判つて貰ふことは出来ないものです。



## 二、季節によつてちがふ子供洋服

御自分で子供服を作らうとなさる人は出来るだけ季節に従つて感じの違つたものを作つて行く事が必要だと思ひます。それは子供服を實用的に着せるとばかりは考へたくはありませんからです。勿論我々の生活は萬事經濟といふ立場を無視する譯には行きませんが自分で作るからはそれ程入費も要らぬことですから、冬の寒空には見ても温かさうな地質と型を選び、春には寒さから解放された伸び伸びしたゆつたりとしたものや、夏に向ふにつれて、更に軽快な、そして涼味をそへるものでありたいのです。秋深くなるにつれて、色にも型にも落付きを持たせ下着様のものは保温に叶ふ様なものを選びなければなりません。斯様に書き連ねますと、誠に實用とか經濟とかの條件とかけ離れて行く様にお考になるかも知れませんが決してさうではありません。作る人の扱ひ一つで、有り合せの廢物利用も出来ますし、型の作り換へも自由に出來ます。

## 三、年齢によつてちがふ子供洋服

幼児から十歳以上迄は同一の型でも作られない事はありませんけれども、大體幼児には幼らしいあどげなさを失はないもので裝飾や何かでごちやくししないものを着せたいと思ひます。殊に色の取り合せや、模様などが、あまりに強過ぎますと子供の本質を失ふ恐れがありますから注意を要します。又上下がつゞきのものと二枚になつてゐる着物とありますが、小さい子供服には矢張一枚型の着物の方が釣合もよく簡單でよろしいのです。學校に行く位になりましたならばブラウスと釣スカートなどや水兵服が何となくかひなくしい様に思はれます。之等の洋服ならば、儀式などの場合にも失禮にはならないのでありますが清潔である事と髪目正しくなければならぬ事は忘れてはなりません。

## 四、子供服に使ふ布に就て

洋服地は勿論、子供洋服にも、現在では毛織物が一番優秀な位置に在るので、夏季を除いては殆ど毛織物を用ひます。毛織物にも種々の種類があり、價格なども随分ちがふのでありますが、子供服としては輸入品の格安物を選び、さもなければ和製の毛織物で結好間に合ひます



尤も柄とか色合とかは充分子供の肉付顔色などを基として考へてほしいものです。

夏の服には、主として木綿物か麻類を撰びたいと思ひます。但その柄や染色等にはよほど注意を拂はないといけません。この點からいひますと、外國物は相當安價な品でも染色は確かでありませんが、和製の安物になりますと、ともすると如何がはしい品のあるのは遺憾であります。ボイルなどは薄地の割合に持ちのよいものですから、夏物としては喜ばれます。贅澤な絹物などはなるべく着せないで精々富士絹程度に止めたいものです。其他從來の和服用のものでも柄によつては服地に用ゐられるものが随分あります。

近年我國の縮の浴衣地が英國や米國に澤山輸出されますが、それは皆彼地の婦人子供の平常着に作られるのださうです。

附 錄

鯨尺とメートル法

一、メートル法に就いて

メートル法の定められた現在では、今迄呉服物の寸尺を計る爲めに用ひられてゐた鯨尺も當然廢せされ、夫れに代るにメートル尺を以てせねばならぬ筈ではありますが、然し永年の習慣を急に革めることは容易ではありませんと共に、亦た裁縫をするにもメートル法ばかりでは不便を感じる人もないではありませんまいから、鯨尺とメートルの對照、双方の換算法及び鯨尺を換算したメートルの寸尺法を茲にお話することに致します。

二、鯨尺とメートル法



鯨尺の一寸は……メートル法の三、七八センチメートル(糶)  
鯨尺の一尺は……メートル法の三七、八センチメートル(糶)  
鯨尺の一丈は……メートル法の三、七八メートル(米)  
一センチメートル(糶)は……鯨尺の二分六厘六六  
一デシメートル(粉)は……鯨尺の二寸六分六六  
一メートル(米)は……鯨尺の二尺六寸六六

注意 普通一般にはデシメートルは餘り口にしないやうです。

### 三、鯨尺をメートルになほす法

鯨尺の寸法をメートル寸法に換算するには其數へ、更らに、其數の半分を加へて四で割ればそれに近いメートルの寸法が出ます。

例——鯨尺で三尺八寸ある衣服の身丈をメートルに換算するとすれば、三尺八寸へ更らに其數の半分、即ち一尺九寸を加へ、五尺七寸として四で割ればよろしいのです、すなはち、一米

四三は鯨の三尺八寸に近い數です。

### 四、メートルを鯨尺になほす法

前の反對に、メートルを鯨尺に換算するには其數に八を掛けて三で割れば大體の答が出ます  
例——一、三六米を、鯨尺に換算しやうとするには夫に八を掛けて一〇八となつた數を、更らに三で割りますと、其得たる數、三六取りも直さず三尺六寸が一、三六米に近い數といふこととなるのであります。

尙、参考にまで、鯨尺をメートル尺に換算した表を次の頁に記しておきます。



發行所

東京市牛込区  
山吹町七十九番

耕文社出版本部

振替口座東京七四八九〇番

不許  
複製

編者  
發行者  
印刷所

早稻田女學會  
東京市牛込區山吹町七十九番  
下里公民  
茶畑邦之助

昭和四年四月二十日發行  
昭和四年四月十五日印刷

定價二圓五十錢

三友堂印刷所

鯨尺	メートル系	鯨尺	メートル系	鯨尺	メートル系
1.0尺	37.880 糶	4.0	1.51520	7.0	2.65160
1.1	41.668	4.1	1.55308	7.1	2.98948
1.2	45.456	4.2	1.59096	7.2	2.72736
1.3	49.244	4.3	1.62884	7.3	2.76514
1.4	53.032	4.4	1.66672	7.4	2.80312
1.5	56.280	4.5	1.70460	7.5	2.84100
1.6	60.608	4.6	1.74248	7.6	2.87888
1.7	64.396	4.7	1.78036	7.7	2.91676
1.8	68.184	4.8	1.81824	7.8	2.95464
1.9	71.972	4.9	1.85612	7.9	2.99252
2.0	75.760	5.0	1.89400	8.0	3.03040
2.1	79.548	5.1	1.93188	8.1	3.06828
2.2	83.336	5.2	1.96976	8.2	3.10616
2.3	87.124	5.3	1.90764	8.3	3.14404
2.4	90.912	5.4	2.04552	8.4	3.18192
2.5	94.700	5.5	2.08340	8.5	3.21980
2.6	98.488	5.6	2.12128	8.6	3.25768
2.7	1.02276 米	5.7	2.14916	8.7	3.29556
2.8	1.06064	5.8	2.19704	8.8	3.33344
2.9	1.09852	5.9	2.23429	8.9	3.37132
3.0	1.13640	6.0	2.27280	9.0	3.40920
3.1	1.17428	6.1	2.31068	9.1	3.44708
3.2	1.21216	6.2	2.34856	9.2	3.48496
3.3	1.25004	6.3	2.38644	9.3	3.52284
3.4	1.28792	6.4	2.42432	9.4	3.56072
3.5	1.32580	6.5	2.46220	9.5	3.59861
3.6	1.36368	6.6	2.50008	9.6	3.63648
3.7	1.40156	6.7	2.53796	9.7	3.67436
3.8	1.43944	6.8	2.57584	9.8	3.71224
3.9	1.47732	6.9	2.61372	9.9	3.75012



終

